

topic

1

ヨーロッパ住宅・建築研修旅行

ヨーロッパ研修旅行は、毎年夏休みに行われる研修旅行で、日本とは異なる文化的背景を持つイタリアの歴史的都市を訪問し、日本での座学授業では得られない、住空間および建築を現地で体感します。

古代ローマ以来の長い歴史を持つイタリアでは、歴史的コンテキストの中に現代の生活を明確に位置づけながら生活用品からインテリア、建築、都市空間までがデザインされており、この研修旅行を通して生活とそれが展開する空間との関係の多様性に気づき、住居学に対する思索が深まることが期待されます。



大運河のゴンドラ（ヴェネツィア）



港湾地区カリカメント広場（ジェノヴァ）

2019
9/9
5
9/18
旅行の日程

Day	City	
1	成田空港集合	空路ミラノへ
2	ジェノヴァ	○港湾地区 ○ストラーダ・ヌオヴァ ○中世地区
3	ミラノ	○サンタ・マリア・プレッツ・サン・サティエロ聖堂 ○ミラノ大聖堂 ○サンタンブロージョ聖堂 ○ブラダ財団ビル ○ガララテーゼの集合住宅
4	ヴィジェヴァノ コモ	○ドゥカーレ広場 ○要塞 ○カサ・デル・ファッショ ○ノヴォコムン集合住宅
5	ヴェローナ ヴィチエンツァ	○アンフィ・テアトロ ○カステル・ヴェッキオ美術館 ○バシリカ ○テアトロオリンピコ
6	ヴィチエンツァ パッサーノ・デル・ グラッパアゾロ	○ラ・ロトンダ ○ポンテ・ヴェッキオ ○ブリオン家の墓地 ○アゾロの街並み
7	ヴェネツィア	○サン・マルコ広場 ○パラッツォ・ドゥカーレ
8	ヴェネツィア	○トルチェッロ島 ○ブラーノ島の街並み
10	東京	

教員からの報告

今年のヨーロッパ住宅・建築研修旅行は、台風15号の影響で成田空港の集合に間に合わない参加者が多く、1日に遅れの後発隊はミラノから合流するというハプニングからスタートしたものの、その後はティレニア海側のジェノヴァから北イタリアの文化都市をめぐりアドリア海側のヴェネツィアへと抜ける旅程を無事に終えることができた。ミラノのガララテーゼの集合住宅やコモのジュゼッペ・テラーニによる近代建築については、現地の建築家から専門的な解説を聞くことができた。また、今年は小都市アゾロの修道院に宿泊する体験もできた。

当初アゾロでは、観光地化した大都市の喧騒を離れて、静かで安全なイタリアの夜を満喫してもらおうと考えたが、当日は歴史的城塞跡を会場としたロック・フェスが深夜まで開催されており、アルプス山麓の夜の静寂にロックの轟音がこだまする様は、学生たちの目にはたいそう奇異に映ったかもしれない。しかし、これもイタリア文化。海外の建築や歴史的な街並みとそこで繰り広げられる生な生活感を感じてもらえたのではないだろうか。

(担当教員：片山伸也准教授)

参加した学生からの報告

2019年度は夏休みの10日間にかけて36名でミラノ・ジェノヴァ・ミラノ・ヴィツェンツァ・アゾロ・ヴェネツィアといったイタリア北部の都市をじっくりと散策しました。今年は台風の影響により予定の飛行機に乗れない人が多数出るといったアクシデントが起りましたが2日目から全員揃って楽しく建築をめぐる旅が始まりました。

この旅で我々はイタリア南部の歴史的な建築からモダンデザインの建築を堪能し、建築を学ぶ上で実物を見たり体感することの重要性を改めて感じました。特にオリンピック劇場など、だまし絵による装飾は実際に見ないと感じられないような感動がありました。また修道院に泊まるという貴重な体験をさせて頂いたり、皆メモや写真、スケッチをとりながら建築を肌で感じていたように思います。

普段から海外に行く機会がない私にとって新鮮で刺激的でした。観光ではなかなか行かないところに行ったり、体験できないことをすることができて私の中の視野が広がったと思います。

住居学科 学部2年生 亀田鈴香



テアトロ・オリンピコ (ヴィチェンツァ)



ノヴォコムン集合住宅 (コモ)



サンマルコ大聖堂 (ヴェネツィア)



ミラノ大聖堂前で (ミラノ)



ジェノヴァ大聖堂 (ジェノヴァ)